

弊社の刊行書籍における著作権者の皆様へ

2009年4月1日 株式会社有斐閣

一部メディアで取り上げられております「Googleブック検索和解案」（以下和解案）につきまして、ご連絡申し上げます。

インターネット検索サービスを提供する Google が著作権侵害の訴えを米国内で提起されていましたが、2008年10月28日に和解に達し、このたび和解案が公表されました。和解の当事者に日本の著作権者も含まれており、著者の皆様の権利に関わる問題が織り込まれております。そのため、和解案および権利行使等について詳細を把握の上、対応策を検討される必要があると思われまます。

つきましては以下の諸点ならびに関連サイトをご参照賜りますようお願い申し上げます。

【Googleブック検索とは】

インターネット検索会社である Google が、2004年に米国内のいくつかの主要大学・公立図書館の蔵書約700万冊を画像データとして読み取り電子化し、インターネットで検索・閲覧などができるようにしたサービスです。本によっては全文に近い内容をパソコン上で読めることもあり、米国出版社協会、および一部の著者と出版社はこの Google ブック検索に対して、米国内で著作権侵害の集団訴訟をおこしていました。

■ Googleブック検索について

<http://books.google.co.jp/intl/ja/googlebooks/about.html>

【Googleブック検索「和解案」について】

上記集団訴訟の結果、2008年10月に和解案が Google より公表されました。この和解案は、著作権者お一人おひとりが和解に参加すると権利を行使すること（Google への著作物掲載の諾否、データ化に伴う使用料の請求およびブック検索サービスによって Google が得た収益からの分配など）ができる代わりに、Google が書籍のデジタルデータを非排他的に利用することができるというものです。一方、和解に参加せず新たな訴訟を提起する等の選択肢も残されています。

今回電子化された書籍データを検索できるのはアメリカ国内に限られ、和解の対象はアメリカ国内での著作権を有する権利者となっていますが、ベルヌ条約により、日本在住の著作権者にも同様の権利が認められています。実際に数多くの日本語の出版物（弊社の書籍も相当数含まれています）が、デジタルデータとして閲覧が可能になっています。

著作権者の皆様におかれましては、以下のリンク先に記載されている同和解案の概要についてご一読いただき、著作物がデジタル化されているか（本和解の対象著作権者かどうか）を確認下さい。デジタル化されている場合は、和解内容に合意するかどうかの判断、および合意した場合に認められている権利を行使すべきかどうかを検討し、適切な対応をされることをお勧めいたします。

■ 概要通知書 (PDF ファイル)

<http://www.googlebooksettlement.com/intl/ja/Final-Summary-Notice-of-Class-Action-Settlement.pdf>

■ Google ブック検索和解の公式サイト（より詳細な情報と和解の対象となる書籍を検索が可能です）

http://www.googlebooksettlement.com/r/home?hl=ja&cfe_set_lang=1

■ 有斐閣刊行書籍で、本和解案の対象範囲となっている書籍一覧（2009年3月10日現在で確認できているもの。ただし、Google 側データの不統一により、一覧リストから漏れている書籍がある可能性もあります）

【Google ブック検索和解公式サイトでの和解対象書籍の検索方法】

(1) 登録・・・著作権者登録を行うことにより書籍の検索ができます。下記の手順に従ってご登録下さい。

- 和解の公式サイト TOP ページから「書籍および挿入物について申し立てを行う」をクリックする
- 次の「レジストリ アカウントの作成」ページで「著者または著者の相続人」に印を付け、その下に現れる「連絡先情報」と「ログイン情報」を記入し、最後に「アカウントを作成」ボタンを押す
- 登録したメールアドレスに「確認コード」が送られてきますので、リンク先をクリックして先ほど登録した「ユーザー名」「パスワード」でログインする
- 次のページで「確認コード」を入力し「アカウントの確認」ボタンを押す

(2) 検索・・・(1)の手順によって登録後、検索ページから書名あるいは著者名等で検索し、デジタル化の対象になっているかどうかを調べることができます。

- トップページから「申し立てフォーム」のタグをクリックし、「ユーザー名」「パスワード」を入力する
- 「検索して申し立てを行う」をクリックする

- 「書籍を検索」にマークされていることを確認し「次へ」のボタンを押す
- 「著者またはその他の寄稿者」欄に、ご自身のお名前を入力する
※入力には漢字の他、ローマ字でも検索結果が異なります。例えば「有斐閣太郎」「Taro Yuhikaku」のほか「Tarō Yūhikaku」のように母音字の上に“ ”（上棒線）を置く長音表記でもご確認下さい。母音の上に引く棒線の入力方法は、IME ツールバーからIME パッドを呼び出して「文字一覧」でUnicodeを選択します。この中の“ラテン拡張A”で探すと「Ō ō Ū ū」等があります。
- 検索結果欄の下に「結果をスプレッドシートとしてダウンロード」のリンクがあり、クリックするとエクセルシートで保存することで、デジタル化がされているかどうかの確認が可能

【問い合わせ先】

- Google 和解案の和解管理者宛（いずれも日本語で対応可能です）
E-mail : BookSettlement_ja@RustConsulting.com
電話：フリーダイヤル 0120-948-079

【関連サイト】

- 「日本書籍出版協会」による報告（いずれも PDF ファイル）
Google とアメリカ作家組合・出版協会会員社との和解について
<http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/google-wakai1.pdf>

Google と米国著作者・出版社との和解についての IPA 報告書
<http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/google-ipa.pdf>